

教育に関する事務事業点検評価結果一覧表

※教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならない。（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条）

町教育委員会外部評価委員会において、「令和2年度実施に係る教育に関する事務事業の点検・評価」を実施しましたので、報告します。（5段階評価）

事業番号	事務・事業名	今後の事業の方向性	自己評価	外部評価	点検・評価に対するコメント等
			総合	総合	
1	児童生徒遠距離通学費	継続	3	5	少子化や小学校・中学校の休校に伴い、児童・生徒の確保、学校の活性化のためにも遠距離通学費助成は必要な事業であるので、弾力的な運用をお願いしたい。
2	教育文化のまちづくり活動助成	継続	3	4	各校、郷土文化活動はしっかり記載していただき、それぞれの学校の特色を生かした活動を確立するためにも継続していただきたい。 各種発表会を観ても成果が上ってきている。また、請けり鑑賞会等、地域活性化のためにも継続していただきたい。
3	古仁屋高校スポーツ・文化活動助成	継続	3	4	古仁屋高校存続のためにも、スポーツ・文化活動の助成をすることにより活性化が図られるため、必要な事業である。 瀬戸内町の魅力や特色を生かした部活動（シーカヤック・スキューバダイビング等）の創設を検討してはどうか。 保護者には、助成に対する説明をし、認識してもらうことも大切である。 助成の会計報告書を添付すること。
4	古仁屋高校修学旅行費助成	継続	3	4	次世代の瀬戸内町を担う生徒達に、より多くの社会的見聞を広め、団体行動等を通じて、社会性・責任感・協調性を身につけるためにも今後も継続していただきたい。 コロナ禍で大都市への修学旅行は控える現状ではあるが、なかなか行く機会の少ない県内の観光地（薩摩・大隅半島、種子島、屋久島、離島）を見聞することも思い出に残るのではないだろうか。
5	古仁屋高校生徒通学費等	継続	3	4	通学費補助や下宿補助は、保護者の負担軽減や学校の活性化のためにも必要であり、今後も継続していただきたい。
6	古仁屋高校各種検定試験受験助成	継続	3	3	古仁屋高校生徒の学力向上と、普通科ではあるがより多くの資格取得を目指すことが出来ることも魅力の一つであり、合格率を上げるように指導をする。 合格者については、全額助成の特典を付けるなど、内容の見直しを検討してはどうか。
7	食物アレルギー診断経費	継続	3	3	児童生徒の保護者の負担軽減を図るとともに、食物アレルギー対策の円滑な運営のためにも必要な事業である。
8	第45回町駅伝競走大会	継続	3	3	参加地区の統合を含め、随時参加要件の緩和を検討しながら、事業が継続できるよう努めていただきたい。 参加確保には苦慮しているチームもあると思うが、朝・夕と走っている方も見られるので、コツコツと頑張っている方たちも参加できる雰囲気のある駅伝大会があってもいいと思う。
9	古仁屋中学校区支援地域本部事業	継続	3	3	地域全体が一体となり、子どもを守り育てる環境づくりを推進するためにも必要な事業である。一方、指導ボランティアの人材確保が急務である。 瀬戸内町内のコーディネーターと連携を図り、事業の充実に努めていただきたい。
10	第36回瀬戸内町町民体育大会	継続	3	3	参加選手が減少する集落と、出番がないから参加しないという集落の方もいる。各年齢層で参加できる種目や楽しんで参加できる種目を検討し、参加者（応援も含む）の増加を図る必要がある。 また、広くて見づらいので開催場所の選定や、午前の個人種目はフィールド内で応援が出来るなどの工夫をしていただきたい。
11	ラジオ体操せとうち選手権	継続	3	3	夏休みの生活習慣・リズムを向上させ、親子のコミュニケーションの一つとしてとても大きな役割を担っている。今後も地域の協力をいただきながら継続していただきたい。 地域ごとで実施日数に大きな差があるので、検討する必要がある。また、表彰についても統一基準を設ける必要がある。
12	放課後子ども教室	継続	4	4	子ども達にとって放課後の居場所づくりは必要なことであり、人材確保と活動拠点の確保、更なる内容の充実に努め、継続していただきたい。 (加計呂麻地区で子ども教室が開かれることは、素晴らしいことである。)
13	国宝重要文化財等保存・活用事業	事業終了	3	4	とても素晴らしい事業ではあるが、調査範囲や数に対して2人では大変である。増員や体制を整えていただき、その調査結果を広く知らせるとともに、今後は郷土教育や観光資源に生かしていただきたい。